



時代を生き抜く名言

学生が心を動かされた言葉を紹介します

by 学生スタッフ

書家の相田みつをさん（1924～91年）は19歳で書を本格的に学び始め、筆一本で生きていくと決め、書に向かい続けた。長男一人さんが5歳のころ、一家は間借りわずか8畳の部屋で生活し、そこで筆を執っていた。自身のアトリエを持ちたい

と切望する中で「持たない夢はかなわない。どんな夢だって持っているから実現するんだ」（相田一人「父 相田みつを」から）と言い、「夢はでかく根は深く」（相田みつを「いのちいっばい」から）の言葉が生まれた。夢や目標を持った時、私はこの言葉を思い出す。最後まで自分で決めたハードルを下げないで、夢への根を深めようと心を蓄い立たせる。

大小さまざまな字、踊るような字…。相田さんの作品には、筆を執るときの思いがそのままあふれているように感じる。今でも多くの人の心を揺さぶるのは、本人が夢を持って手にしたアトリエで、とことん自分と向き合い生まれたものだからだ。（愛知教育大3年、大津桃花）